

## 第4部会 2019年1月研究会のお知らせ

### 第2回プレテストの歴史科目分析と「歴史総合」の評価方法をめぐって

高大連携歴史教育研究会会員の皆様

2018年11月に大学入学共通テスト第2回試行調査（プレテスト）が実施され、いよいよ来年度より大学入試制度が大きく変わることになります。この入試制度改革は、いわゆる「学力の3要素」に基づく一連の学校教育改革の流れの中に位置づけることができ、「歴史的思考力」を評価する問題が出題されています。一方、2018年3月に発表された高校の新学習指導要領によって、2022年度より新科目「歴史総合」が導入されることになりました。「歴史総合」が大学入試でどのように扱われるかは未確定ですが、学習指導要領には評価方法についての言及がなく、今後、成績評価について検討を重ねていく必要があります。

そこで、今回、下記の要領で、第2回プレテストの「世界史B」「日本史B」問題の分析とともに、「歴史総合」の評価方法をテーマとして研究会を開催することにいたしました。奮ってご参加ください。

#### <記>

日時：2019年1月12日（土）14:00～17:00

場所：青山学院大学青山キャンパス 14号館 14509 教室

\* 正門右手の建物の5階です。

(<https://www.aoyama.ac.jp/outline/campus/>)

#### 【報告】

- 1、大学入試センター大学入学共通テストの試行調査（プレテスト）分析  
「世界史B」：松丸徹治（静岡県立静岡高等学校）  
「日本史B」：大庭大輝（筑波大学附属高等学校）
- 2、「歴史総合」の成績評価の可能性 ～DP History の評価方法を参考に～  
山本勝治（東京学芸大学附属国際中等教育学校）

☆なお、会場整理の関係上、参加をご希望の場合は、鈴木まで「研究会参加」のタイトルをつけてメールでご連絡ください。(shigeru.suzuki@tufs.ac.jp)  
☆終了後、近くで懇親会を行う予定です。

主催：高大連携歴史教育研究会第四部会部（部会長 鈴木茂）

共催：青山学院大学史学会、科研費研究プロジェクト「高大連携による歴史教育の実践的研究」（代表：金井光太郎）